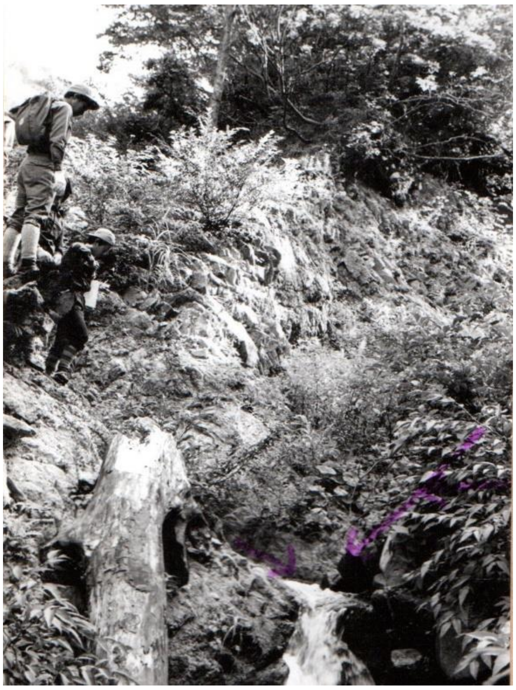
＊これ以降の「山手帳」見つからず。代わりにコメントつきの写真たくさんあり

№１３　五頭　大沢～菱ヶ岳～黒川
１９７５年（昭和４９年）９月２２日

湯花沢が写真手前右からであっているところにある Ｆ１　２ｍ　両岸から難なく越せる。ここから上流もナメである。



【写真左】
左から、与平沢、中ノ沢、中ノ岳沢の第二三沢出合ともいうべきところにある尾根の末端のガレた様子。ここに来るとあたりが開ける。与平沢は小滝二つで入っており小沢に見える。中村さんのかつぐザックはなんと９８０ｇという軽さ。風にたなびくほどである。
【写真右】
出合から入ってすぐの屈曲点にあるＦ２　１２ｍ　島津　坂上

Ｆ２を登るとすぐ正面に見えるＦ３　７ｍ　左岸のへりを直登。

菱ヶ岳頂上標識と頂上三角点。この日は快晴で遠く磐梯山まで見えた。

下山ルート菱ヶ岳沢の唯一の滝　ハコ滝１２ｍ
岩壁の途中は藤田さん、中村さん

No.１４　二王子岳

１９７５年（昭和４９年）９月日日

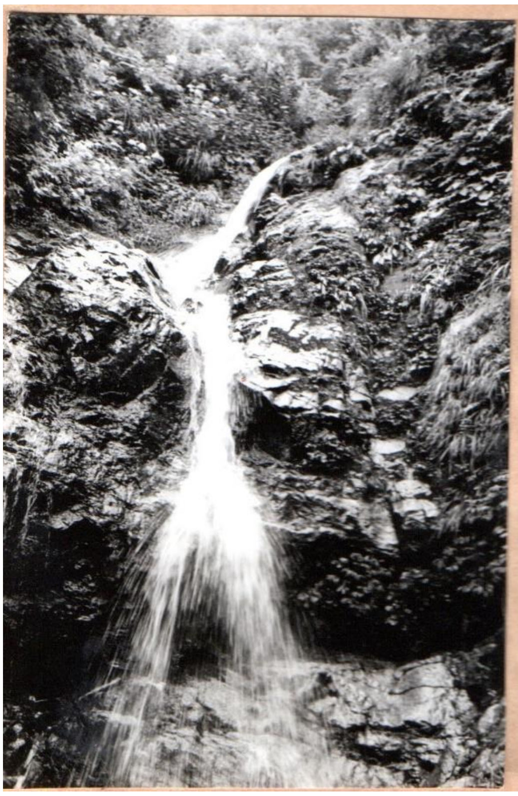
No.１５　七滝沢出合～ジョウ沢～焼峰山
１９７５年（昭和４９年）９月１５日、１６日

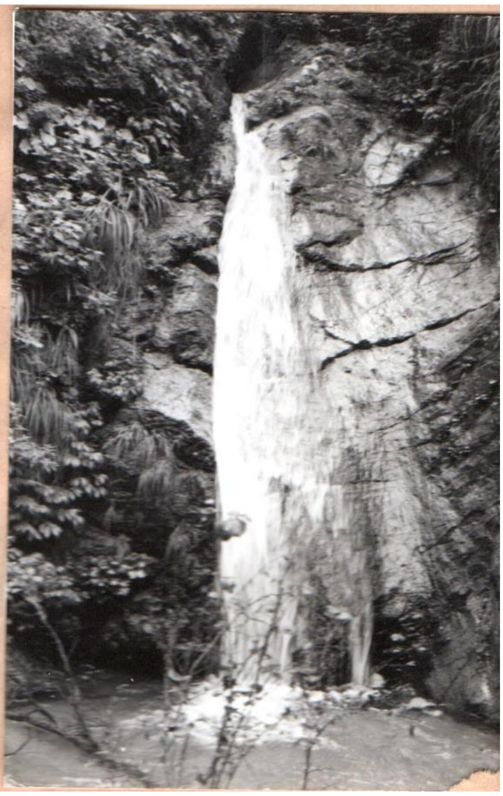
９月１５日
赤谷→七滝沢出合　幕営

左；内ノ倉本流　右；七滝沢

９月１６日
２年は、七滝沢へ
１年は、ジョウ沢～焼峰山～東赤谷

【写真左】
両岸が急に狭まったところにあるＦ１　６ｍ。
３段の滝２段目ゴルジュのため近づけず右岸大きく高巻き。遠方に見える樹木のあるピークは、４２７Ｐ。
【写真上】
Ｆ１を越えてすぐに出てくるナメ滝５ｍ。





【写真右】
Ｆ３　３段１２ｍの１段目。約６ｍ。右岸大きく高巻き。
【写真左】
Ｆ３　２，３段目。

支尾根突き上げ途中から右沢の様子。上部の○の大滝から出合付近の糸状の滝まで連暴帯になっている。よって左沢からコルへ突き上げるのがよい。

＊２万５千地図には、ジョウ沢沿い、そして突き上げの焼峰へ伸びる尾根のコルを通って頂上まで破線があるが、昭和４１年、４２年の羽越水害によりズタズタとなった。コル付近にのみしっかりとした道が残っていた。また、焼峰頂上直下のこの道の合流する屈曲点付近もしばらく看板があったり、道もしっかりしていた。この道は、数年後に網張場登山道として復活したが、すぐに廃道となり、今では通る人も知る人は少ない。

コルから先、雨が増し、ガスも出て一時道を失い孤立した。

【写真左】
尾根トラバース中より、１０９９ｍＰから四ツ倉への連なりを望む。
【写真右】
同じく焼峰山、東台峰を望む。やがて、この山稜がガスによって隠された。

№１６　越後駒ヶ岳　秋季登山研修会
１９７５年（昭和４９年）１０月７日、８日
１０月７日　新発田→小出→駒ノ湯
１０月８日　駒ノ湯⇔越後駒ヶ岳

上写真２枚撮影　杉浦英午先生

駒ノ湯幕営地より駒ヶ岳

昭和４９年秋季登山会は、越後駒ヶ岳で行われたが、当日あいにくの雨で展望は全くきかず、王朝絵巻さながらの大斜面の紅葉や絶壁などは、その片鱗を見せたに過ぎなかった。

No.１７　赤津山
１９７５年（昭和４９年）１０月２０日　２１日

１０月２０日　東赤谷→四郎左衛門沢　赤津登山口幕営
　　　　　　　＊水を採りに坂上と四郎左衛門沢、松の木穴沢を下りる。松の木穴沢では、本流まで下りる。島津、古川は登山口を偵察し、取り付き点を見つけてくる。初の１年だけの幕営。

【写真左】
支尾根上、最初のピーク７０９mP から西の峰～赤津の稜線を望む。西の峰、赤津は見えないが、３本槍の上下の激しい上り下りがうかがえる。ここからヤセ尾根になる。岩稜も見える。
【写真右】
１２１５ｍＰ、焼峰からの尾根の合流点から、赤津、３本槍、赤津沢源頭を望む。赤津沢の様相がすごい。道はここから不明瞭となる。直下はクマザサの原となっており池塘もある。

山頂からちょっと前の雨量計設置点にある石碑。石碑から杁差岳。

人の立っているところが赤津山頂三角点。

No.１８　棚橋山・焼峰

１９７５年（昭和４９年）１１月３日　単独

No.１９　焼峰山

１９７５年（昭和４９年）１１月日日

No.２０　二王子岳　冬山合宿

１９７５年（昭和４９年）１２月２５日～２７日

No.２１　俎倉スキー
１９７６年（昭和５０年）１月日
同行者　山田弘二

No.２２　俎倉スキー
１９７６年（昭和５０年）２月１１日
同行者　山田弘二

No.２３　五頭山～菱ヶ岳
１９７６年（昭和５０年）３月１５日
同行者　坂上　古川

見晴台から烏帽子岩

烏帽子岩

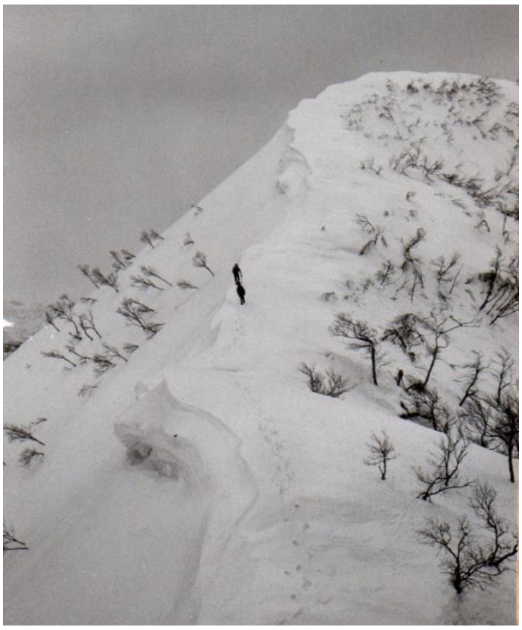
烏帽子岩から７６８高地への登り

一ノ峰

左　小倉沢源頭より五頭本峰、松平山、金鉢山。遠く二王子を望む。
右　五頭一ノ峰より菱ヶ岳

左　小倉沢源頭より飯豊連峰主稜線、蒜場山、焼峰、赤津を望む
右　中ノ岳付近の縦走路

左　中ノ岳付近より三川方面
右　オッタテ尾根と阿賀野川、蒲原平野



左　菱ヶ岳北峰与平沢源頭への最後の登り
右　菱ヶ岳北峰より五頭、松平、二王子

左　菱ヶ岳山頂より９０２．８mP 方面。さらに阿賀野川越えに管名岳を望む。
右　菱ヶ岳からの下り

No.２４　二王子岳　春山合宿
１９７６年（昭和５０年）３月２４日～２８日

＊ＯＢの相馬さんと偶然出会う。チェック
シャツの方